

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S17 -	施策名	福祉の家利活用推進			
担当部課	福祉部長寿課		関係部課	建設部みどりの推進課		
基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	6	地域で支え合う福祉の仕組みをつくる		
		施策の進め方	2	地域福祉体制の充実		
	まちづくり行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		
		政策分類	3	地域にある施設の活用を推進する		
	その他(関係法令、要綱等)	福祉の家条例				
施策開始の背景、経緯等	福祉の家は開館して15年が経過し、施設を取り巻く状況は急激に変化しており、この変化に対応し、より効果的・効率的に施設の設置目的を達成するため、運営・管理方法の見直しを行う必要が生じている。					
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 公民連携を活用した施設の改修、運営方法を含めた施設の利活用の更なる推進を図る。				
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 福祉の家 福祉エリア				
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護予防、健康増進の拠点施設として、幅広い利用者の交流の場として利用される施設とする。				
	施策に係る主なコスト	① 福祉の家公民連携事業研究会講師報酬金	150千円	② -	-千円	
目標・成果推移	施策に係る取組	28年度	29年度	30年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	A 公民連携	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
	B 大規模改修	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化		(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・公民連携による整備事例(福岡県福岡市東区、岡山県岡山市) ・行政100%出資による運営事例(愛知県東郷町)			
改善状況	前年度からの改善点	(何をどのような状態に改善したのか) 公民連携の研究会を3回実施し、本施策についての庁内での検討を実施した。				
評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) 公民連携の研究会の中で、公民連携の優先的検討規程素案やガイドラインの素案を作成した。民間企業からの意見や提案を受けるサウンディング調査を実施した。				
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 温泉エリアの指定管理が平成30年度末で更新時期になることから、福祉エリアも含めた指定管理区域の検討だけでなく、老朽化や更新時期を迎える機械設備の修繕、改修についても公民連携の手法を含めた検討が必要である。				
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 福祉の家に最適な事業スキームを検討し、サウンディング型市場調査、市民ワークショップ等の手法により、導入可能性を調査し、再整備計画を策定する。				